

実験展示

01

風のゆらぎで光がゆらぐイルミネーション

## 風車の木

### コンセプト

自然力だけで何かできないか？ そんな思いから生まれた風を使った演出の新しい試みです。自然の力を感じ、自然の力のゆらぎ、時には儚さを感じる、そんな夜の演出を実験展示として「風車の木」と名づけました。上部の縦型風車発電機のみで電力を供給しています。また照明部分は極力消費電力を抑えるため、LEDの数を最小限にできる編みこみ光ファイバーを使用しています。自然の力について、なにかを感じていただければ幸いです。

みなさまと、もっと、ずっと。

15<sup>th</sup>  
Anniversary

京都駅ビル開業15周年  
記念イベント実験展示



## コンセプト

駅ビルで調達できる雨水と地下湧水を使って緑が育てられないか？ そんな思いから生まれた緑化施設です。貯めた水を重力により循環させ、地下湧水の汲みあげにも太陽光発電を使用する等、自然力を最大限に活用しています。

日本の原風景や京都らしい自然を表現するために、植栽選びにも工夫を凝らしています。

普段の生活で見過ごされがち自然の恵みについて、なにかを感じていただければ幸いです。

## 02 日本の原風景を表現した植栽

日本の原風景である、「里山」→「棚田・湿地」→「池沼」といった自然環境を、上層階から下層階にかけて再現しています。池のゾーンではかつて京都の巨椋池に生育していた種を中心に構成しています。

### 里山

京都の周縁部に広く展開しているアカマツ、コナラ等の二次林（伐採や下刈りなどの人手の入った樹林）の主要構成種を中心に選定しました。

◆中高木種 サカキ、ヤブツバキ、ヒメユズリハ、ナツハゼ、カマツカ、ヤマボウシ等

◆低木種・グランドカバープランツ ムラサキシキブ、シャガ、ツワブキ、フジバカマ、チョウジソウ、ホタルブクロ、ヤブラン等

### 棚田・湿地

水田や湿地は季節の変化に伴い、ある時は水域、ある時は陸域と、水面の規模や深さなど形態を変化させる「一時的水域」と呼ばれる水辺空間です。このような環境は動植物にとって極めて貴重な生息の場であり、多様な水生・湿性植物の宝庫でもあります。嵯峨野、大原、深泥池など京都市内に残る水田や湿地等に自生する種を中心に選定しました。

◆水生・湿性植物 ヨシ、コガマ、コウホネ、サンカクイ、フトイ、ヒメホタルイ、ウキヤガラ、カキツバタ、カンガレイ、クワイ、ミズアオイ、ミズキンバイ、アサザ、ガガバタ、デンジソウ、ミズトラノオ、ミツガシワ、ミクリ、ネビキグサ等

### 池沼

京都府南部には、かつて巨椋池と呼ばれる大池がありました。43種の魚類、150種にも及ぶ水生植物、渡り鳥を含む野鳥など多くの生き物が生息していたとの記述が残されていますが、残念ながら国営干拓工事によって1941年にその姿を消しました。巨椋池を懐かしみ、かつて巨椋池に生育していた種を中心に選定しました。

◆水生・湿性植物 ヨシ、ツルヨシ、コガマ、ヒメガマ、ウキヤガラ、カキツバタ、クワイ、コウホネ、サンカクイ、ハス科、ヒシ科、ミソハギ科、マコモ、ミズアオイ、ヒツジグサ、アサザ、ガガバタ、トチカガミ、ミズトラノオ、ネビキグサ等

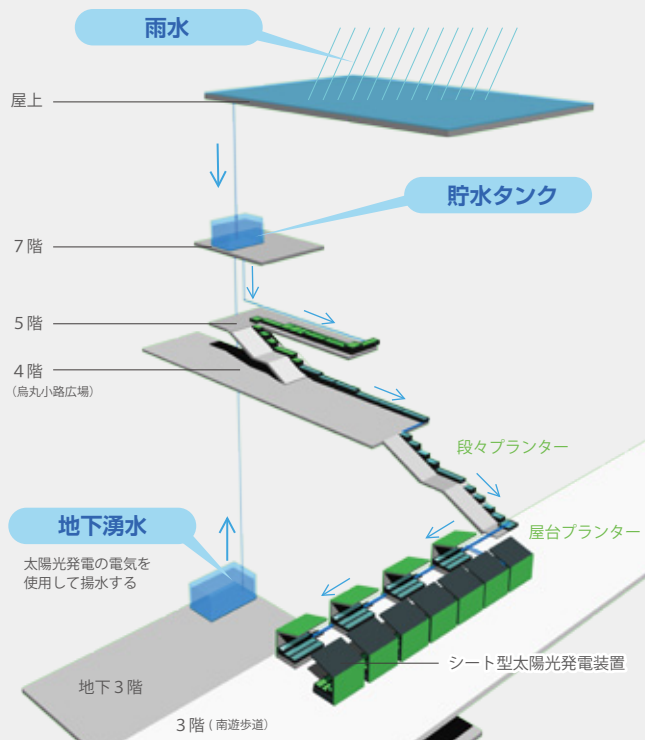
5F

4F・烏丸小路広場

3F・南遊歩道

## 03 自然力を利用した水の循環のしくみ

屋上に降った雨水と、地下湧水を貯水タンクに貯めて、重力によって徐々に下の階に水を循環させるしくみです。地下湧水の汲みあげには太陽光発電により得られた電気を活用しています。



## 04 段々プランター

階段に設置しやすい形状をしたプランターで、ビル空間の中で効率的な配置が可能です。深さに変化があり、多様な植栽の生育環境をつくり出すことができます。



## 05 屋台プランター

屋根やベンチがついた屋台型のプランターで、緑の憩い空間を作ります。上屋の部分は着脱が可能で、イベント時には移動や収納性にすぐれたシェルターとしても使用できます。

